



学校便り

No. 8

# 夢・挑戦

令和2年1月21日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

## 人生は夢や目標への挑戦であり実現!!

令和2年の新しい年がスタートしました。私は前回の東京オリンピックが行われた昭和39年(1964年)生まれですが、今年是世界中が注目する東京オリンピック・パラリンピックが開催され、7月24日(金)に開会式が行われます。オリンピックは4年に一度開催されるため、それぞれの選手のピークと重なるわけではなく、出場することも難しいです。ましては、メダルしかも金メダルを取ることは奇跡的なことで、努力だけではなく運も必要ではないかと思えます。



【熊日三太郎駅伝出場者】

さて、以前勤めていた中学校で、1972年ミュンヘンオリンピック100m平泳ぎで世界新記録を樹立し、金メダル獲得した田口信教さんの講話を聴く機会がありました。今でも覚えていることは、「①練習量、②よい練習環境やコーチにつく、③運を呼び込むの3つが大切である」と言われたことです。また、「1日1万m(10km)泳ぐ選手は、世界に10数人しかおらず、決勝に残る選手の実力差はあまりない。あとは運次第で決まる。だから、周りの人からあの選手は金メダルにふさわしい人だと言われるような行動を取っていた」とも言われました。具体的には、自分から先にあいさつをする、施設やプールサイドのゴミを拾うことなど、人が喜ぶことや人の役に立つことを率先してされたそうです。



【校内駅伝・マラソン大会】

3学期始業式では、学校教育目標である「夢に向かって挑戦する」ことを生徒にお願いしました。人間は夢や希望、目標があるから生きられると思います。しかし、夢や希望、目標があっても、実際には何も努力しない人が多いのではないかと思います。夢や希望、目標が実現できないのは、力がないからではなく、やらないからです。夢や希望、目標は人によって異なります。自分なりの夢や目標を立て、ねばり強く努力してください。

## 全国体力テスト、特に走力低下が深刻!!

2学期終業式の日新聞に、小学5年と中学2年を対象とした全国体力テストの結果が載っていました。握力やボール投げなど実技8種目の合計は、小中男女とも昨年度から低下し、小5男子は2008年度の調査開始以降、最低となったそうです。走力(50m、シャトルラン、持久走)は、全項目の小中男女で昨年度より記録が落ちたそうです。スマートフォンやゲームをする時間の増加や猛暑の影響で、運動時間が減少したことが体力低下につながったそうです。

また、学校保健統計調査では、視力が1.0未満の小中高校生は過去最多の割合となり、原因はスマホやゲームなどで近くで物を見る時間が増えたり、屋外で遊ぶ機会が減ってあまり遠くを見なくなったりしていることが背景にあるということです。

つまり、スマホやゲームの長時間使用は、以前お伝えした学力低下につながるばかりか、体力低下、視力低下にもつながり、夜遅くまで使用すると睡眠の質の低下、そして不規則な生活にもつながります。

2年前に105歳で亡くなられた医師の日野原重明先生は、「命とは、人間が持っている時間のことです。人は、自分のために時間を使います。さらに、誰かのために時間を使ってください」と語っておられます。皆さんは今、社会に出る前の大事な中学生の時期を生きています。スマホやゲームに、1日2時間も3時間も使ってはいけません。勉強や部活動、趣味・特技、読書、そして休養に大切な時間を使ってください。西洋のことわざ「時は金なり」です。

ある新聞社が行った調査では、年賀状を100枚以上出す人は約6%と載っていました。今年の正月、私にも担任していたり、数学や野球を教えたりした生徒から年賀状が届きました。

その中に、数学が苦手な授業中私がよく指名していた生徒から、「数十人の職場をまとめています」と書かれた年賀状が届きました。その生徒が中3の秋、1年ぶりの関数の授業で、私が「変化の割合とは」と指名したら、「xが1増加したときのyの増加量」と即答して、クラス中に「すごい!!」という歓声があがったことを覚えています。

先生方には、「授業中、生徒には適度な緊張感と安心感をもたせながら、ねばり強い指導をしてください」とお願いしています。どの生徒も可能性や能力をもっていることを改めて思いました。